

様式第6号

宮崎市地域コミュニティ活動交付金実績報告書

令和7年 3月18日

宮崎市長 清山 知憲 殿

主たる事務所の所在地 宮崎市鶴島2丁目18番23号  
名 称 小戸まちづくり推進委員会  
代表者の氏名 会長 西山 久介  
電話番号 71-4583

令和6年3月29日付けで交付決定のありました宮崎市地域コミュニティ活動交付金については、宮崎市地域コミュニティ活動交付金に関する規則第18条第1項の規定により、関係書類を添えて実績報告書を提出します。

添付書類

(イ) 事業実施報告・収支決算（見込）書

(ロ) 事業別収支計算書

(ハ) 積立金管理状況報告書

(ニ) その他

宮崎市地域コミュニティ活動交付金繰越届出書、備品管理台帳写し

(様式第5号)

令和6年度 事業実施報告・収支決算書

小戸地域自治区

小戸まちづくり推進委員会

1 総括

今年度は、まちづくりビジョンの基本目標にあるふれあいのあるまちという観点から、小戸地区大運動会、小戸地区防災訓練、小戸地区ふれあい会食会など、より多くの事業を行うことができ、地域の皆さんと交流を深めることができ良かった。

2 収支決算

(1) 収入の部

(単位：円)

項目	予算	決算	差	備考
地域コミュニティ活動交付金	2,660,524	2,660,524	0	
社会福祉協議会補助金	400,000	400,000	0	基本事業費補助：20万 活動実践事業費補助：20万
繰越金	1,115,476	1,115,476	0	
参加者負担金	120,000	116,500	▲ 3,500	
災害積立基金	697,250	697,250	0	
合計	4,993,250	4,989,750	▲ 3,500	

(2) 支出の部

分野	事業名	実施年数	予算	決算	差	備考
防	防災訓練事業	16年目	170,000	206,342	36,342	
防	交通安全見守り事業	13年目	40,000	28,104	▲ 11,896	
防	防災倉庫整備事業	13年目	500,000	3,496	▲ 496,504	
防	災害積立基金活用事業	4年目	697,250	628,210	▲ 69,040	残額69,040円は防災訓練事業に流用
福	情報交換会事業	14年目	250,000	204,196	▲ 45,804	
福	ふれあい会食会事業	16年目	285,000	243,171	▲ 41,829	
福	地域福祉推進事業	10年目	100,000	55,712	▲ 44,288	
福	子育て支援事業	10年目	100,000	68,525	▲ 31,475	
環	花のまちづくり事業	16年目	150,000	139,971	▲ 10,029	
再	ボランティア育成事業	12年目	100,000	14,600	▲ 85,400	
健	小戸地区大運動会事業	11年目	550,000	478,548	▲ 71,452	
健	体育会との連携事業	15年目	90,000	60,016	▲ 29,984	
健	歩こう会事業	4年目	10,000	11,592	1,592	
伝	しめ縄飾り体験事業	15年目	140,000	101,889	▲ 38,111	
教	小戸小との連携事業	13年目	165,000	73,259	▲ 91,741	
他	まちづくり広報事業	14年目	446,000	370,260	▲ 75,740	
他	まちづくり活動支援事業	13年目	1,200,000	1,154,627	▲ 45,373	
繰越金			0	1,147,232	1,147,232	※
合計			4,993,250	4,989,750	▲ 3,500	

※繰越金は(収入計4,989,750円) - (事業費計3,842,518円)

### 3 実施報告

#### [1] 防犯・防災に係る事業

事業名	防災訓練事業	実施年数	16年目																								
事業期間	開始：平成21年度	終了：なし																									
地域魅力発信プランとの関連	基本目標 1. 安心安全に暮らせるまち 防災力の向上に努めます。																										
目的 (期待される効果)	住民の防災意識の高揚を図り、地域住民同士のきずなを深めるとともに地域の人材育成と確保につなげる。																										
事業内容・手段	<p>(1) 防災訓練の実施</p> <p>会場 小戸小体育館・グラウンド</p> <p>実施日 10月6日(日)</p> <p>内容 ①小戸小への避難訓練 ②高齢者(障がい者)の避難誘導訓練 ③応急給水タンクの設置訓練 ④マンホールトイレの設置訓練 ⑤水消火器の使用訓練 ⑥AED(自動体外式除細動器)の使用訓練 ⑦資機材の使用訓練 ⑧備蓄品の展示</p> <p>※小戸地区自治会連合会と連携</p> <p>(2) 防災研修会の実施</p> <p>会場 小戸地域開放ふれあい会議室</p> <p>実施日 9月14日(土)</p> <p>内容 男女共同参画の視点による防災をテーマに パネルディスカッション</p> <p>※宮崎市男女共同参画センターと共催</p> <p>(3) 情報伝達訓練の実施</p> <p>各自治会向けに説明会を開催し、登録情報員を募集。中止 登録情報員の活動キットを準備。</p>																										
事業費	206,342円																										
対象者	地域住民、まち推委員(自治会長、民生委員児童委員、福祉協力員)																										
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年 度</th> <th colspan="2">令和6年度</th> <th colspan="2">令和5年度</th> </tr> <tr> <th>研修会</th> <th>訓練</th> <th>研修会</th> <th>訓練</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>55人</td> <td>95人</td> <td>34人</td> <td>95人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>3人</td> <td>53人</td> <td>6人</td> <td>34人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>58人</td> <td>148人</td> <td>40人</td> <td>129人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年 度	令和6年度		令和5年度		研修会	訓練	研修会	訓練	一般参加者	55人	95人	34人	95人	スタッフ	3人	53人	6人	34人	合 計	58人	148人	40人	129人
年 度	令和6年度		令和5年度																								
	研修会	訓練	研修会	訓練																							
一般参加者	55人	95人	34人	95人																							
スタッフ	3人	53人	6人	34人																							
合 計	58人	148人	40人	129人																							
住民の声(アンケートの結果等)																											

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	B	B	事業実施時にアンケートを取り集計し、年齢別、自治会別、要望等を取りまとめ、部会で検討している。	広報	⑤事業の周知	B	B	自治会加入者世帯へチラシの班回覧を実施した。福祉事業所へ案内文書を送付し参加を促した。
	②住民の参加	B	B	今回の訓練の内容からすると、目標人数は達成したと思われる。若い世代の参加が望まれる。		事業の効果	⑥課題解決への作用	B	B
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	B	B	小戸地区の地理的条件を考慮して計画しているが、今後は、高齢者や障がい者の避難支援に対応する内容も検討したい。	事業の効果		⑦住民の満足度	B	B
	④各種団体との連携	A	A	各自治会、民生委員、福祉協力員、小戸地区内の防災士、福祉事業所の参加がある。		事業継続の必要性		①・無	
良かった点・改善点等	<良かった点や改善した点等> 福祉事業所の利用者と職員にも参加いただき、AEDの操作体験やマンホールトイレの設置訓練等を実施でき、有意義な防災訓練であった。								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・令和 年度）>						対応	未・済	
	<意見への対応>							未・済	
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・令和 年度）>						対応	未・済	
	<意見への対応>							未・済	

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

事業名	交通安全見守り事業	実施年数	13年目																									
事業期間	開始：平成24年度	終了：なし																										
地域魅力発信プランとの関連	基本目標 1. 安心安全に暮らせるまち 子どもや高齢者の見守りに取り組みます。 2. ふれあいのあるまち 元気にあいさつします。																											
目的 (期待される効果)	登下校時の子どもの見守り活動を行い、安全・安心なまちづくりを目指す。																											
事業内容・手段	(1) 登校時の見守り活動の実施 活動場所 小戸小付近の4交差点 実施時期 4月～翌3月 毎週月曜日(休みのときはその週の最初の登校日) 7:00～8:00頃 内 容 児童の見守りおよびあいさつ・声掛け (2) 見守りボランティア募集のチラシ配布 (3) 交通安全見守り隊と児童との対面式 会 場 小戸小学校体育館 実 施 日 6月4日(火) (4) 交通見守り座談会の実施 会 場 小戸地域開放ふれあい会議室 実 施 日 1月15日(水) 内 容 小戸小・小戸小PTA・警察・自治会・ 見守りボランティアの間で意見交換を行う。																											
事業費	28,104円																											
対象者	地域住民、まち推委員(自治会長、民生委員児童委員、福祉協力員)																											
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年 度</th> <th colspan="2">令和6年度</th> <th colspan="2">令和5年度</th> </tr> <tr> <th>座談会</th> <th>見守り活動</th> <th>座談会</th> <th>見守り活動</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>15名</td> <td>5人</td> <td>18名</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>3名</td> <td>14人</td> <td>2名</td> <td>17人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>18名</td> <td>19人</td> <td>20名</td> <td>20人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>				年 度	令和6年度		令和5年度		座談会	見守り活動	座談会	見守り活動	一般参加者	15名	5人	18名	3人	スタッフ	3名	14人	2名	17人	合 計	18名	19人	20名	20人
年 度	令和6年度		令和5年度																									
	座談会	見守り活動	座談会	見守り活動																								
一般参加者	15名	5人	18名	3人																								
スタッフ	3名	14人	2名	17人																								
合 計	18名	19人	20名	20人																								
住民の声(アンケートの結果等)																												

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	例年、小学校での地域の見守りに感謝する集いがあり、「これからも見守ってほしい」との声がある。	広報	⑤事業の周知	A	A	自治会配布チラシ等に加えて、まちづくりのSNSを活用した呼掛けを行っている。
	②住民の参加	B	B	登校時の見守りは、参加ボランティアを募って実施している。座談会は見守りボランティアの方、小戸小、PTAの参加がある。		事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	地域の、特に子供たちの安心安全のための事業として必要である。	事業の必要性		⑦住民の満足度	A	A
	④各種団体との連携	A	A	主に民生委員、公募での活動としているが、ギリギリの人数で行っているため、各種団体へさらなる声掛けをし、協力者を募りたい。		事業継続の必要性	有	無	
良かった点・改善点等	<良かった点や改善した点等> 活動参加者が減少傾向にあるので、自治会配布チラシ等に加えて、小戸小PTAなど各種団体へさらなる呼掛けを行い、協力者を募りたい。								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・令和 年度）>						対応	未・済	
	<意見への対応>								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・令和 年度）>						対応	未・済	
	<意見への対応>								

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

事業名	防災倉庫整備事業	実施年数	13年目												
事業期間	開始：平成24年度	終了：なし													
地域魅力発信 プランとの関連	基本目標 1. 安心安全に暮らせるまち 防災力の向上に努めます。														
目的 (期待される効果)	災害時に必要となる食糧、飲料水、救助用資機材等を購入する。 地域住民に防災倉庫の周知をする。														
事業内容・手段	(1) 災害備蓄品の購入 防災倉庫場所①小戸小学校南校舎3階の1室(空き教室) ②小戸小学校体育館南側(令和3年度設置) ③小戸小学校体育館南側(令和5年度設置) 実施時期 4月～翌3月 内 容 備蓄目標を設定。 それに基づき飲料水・防災備蓄食・衛生用品を購入。 ※令和7年8月の台風10号による竜巻で防災倉庫が 被害を受け、保管スペースを確保できなかつたため 備蓄品を購入できなかった。 ※市民活動センターを通して、能登半島地震の支援の ために活用した衛生用品等のみ補充。 (2) 災害備蓄品の管理・入れ替え 内 容 使用期限のあるもの(救急セット)は入れ替えをする。 賞味期限間近の飲料水・食糧等は地域内で消費する。														
事業費	3,496円														
対象者	地域住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和6年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>※事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年 度	令和6年度	令和5年度	一般参加者	—	—	スタッフ	—	—	合 計	—	—
年 度	令和6年度	令和5年度													
一般参加者	—	—													
スタッフ	—	—													
合 計	—	—													
住民の声(アンケートの結果等)															

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	部会で備蓄目標を設定し必要なものを検討して購入した。	広報	⑤事業の周知	B	A	今年度の事業で購入したものを防災訓練の際に展示し広報に努めた。
	②住民の参加	—	—			事業の効果	⑥課題解決への作用	—	—
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	自治会の資機材の備蓄状況を踏まえて、自治会単位では購入が困難な資機材を購入し、地域の防災の取組に活用している。			⑦住民の満足度	—	—
	④各種団体との連携	—	—		事業継続の必要性		有 ・ 無		
良かった点・改善点等	<良かった点や改善した点等>								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・令和 年度）>						対応	未・済	
	<意見への対応>								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・令和 年度）>						対応	未・済	
	<意見への対応>								

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

事業名	災害積立基金活用事業	実施年数	4年目												
事業期間	開始：令和3年度	終了：令和6年度													
地域魅力発信 プランとの関連	基本目標 1. 安心安全に暮らせるまち 防災力の向上に努めます。														
目的 (期待される効果)	令和元年度に目標額に達した災害積立基金を活用して、災害時の小戸地区指定避難所に必要な備品を計画的に購入し、避難所の環境を整備する。														
事業内容・手段	(1) 基金の活用(取り崩し) ①備品を整備 防災倉庫場所⑦小戸小学校南校舎3階の1室(空き教室) ⑧小戸小学校体育館南側(令和3年度設置) ⑨小戸小学校体育館南側(令和5年度設置) 実施時期 4月～翌3月 内 容 発電機、避難所用照明、照明用充電器・バッテリー ポータブル電源、ソーラーパネル ②防災倉庫の修繕 台風10号に伴って発生した突風(竜巻)の影響で防災倉庫⑧の基礎が浮き上がっているため必要な修繕を行う。														
事業費	628,210円														
対象者	地域住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和6年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>※事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年 度	令和6年度	令和5年度	一般参加者	—	—	スタッフ	—	—	合 計	—	—
年 度	令和6年度	令和5年度													
一般参加者	—	—													
スタッフ	—	—													
合 計	—	—													
住民の声(アンケートの結果等)															

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	B	B	防災倉庫を設置し、必要な資機材を備えて地域の防災の取組に活用していく。	広報	⑤事業の周知	A	A	今後まち推だよりなどを通じて、まちづくりの防災倉庫や備蓄品について周知を図りたい。
	②住民の参加	—	—			事業の効果	⑥課題解決への作用	—	—
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	自治会単位では購入が困難な資機材を購入し、指定避難所の機能強化を図る。			⑦住民の満足度	—	—
	④各種団体との連携	A	A	災害に強いまちづくりを目指して、各種団体と連携を取って行っていく。	事業継続の必要性		有 ・ ④		
良かった点・改善点等	<p>&lt;良かった点や改善した点等&gt;</p> <p>部会で指定避難所で求められる資機材や備蓄品を選定し購入した。市学校施設課、小戸小等との間で連絡を取り合い、備品が安全・円滑に活用できるよう努めた。</p>								
地域協議会からの意見への対応	<p>&lt;地域協議会からの意見（令和6年3月・令和6年度事業計画）&gt;</p> <p>事業最終年度ですので、関係機関等と連絡・調整しながら、避難所に必要とするものを備えるよう努めてください。</p>				対応	未 ・ ④			
	<p>&lt;意見への対応&gt;</p> <p>部会で指定避難所で求められる資機材や備蓄品を購入し、市学校施設課、小戸小等と連絡・調整しながら、備品が安全・円滑に活用できるよう努めた。</p>					対応	未 ・ 済		
		<p>&lt;地域協議会からの意見（令和 年 月・令和 年度）&gt;</p>							
		<p>&lt;意見への対応&gt;</p>							

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

[2] 地域福祉に係る事業

事業名	情報交換会事業	実施年数	14年目																														
事業期間	開始：平成23年度	終了：令和6年度																															
地域魅力発信プランとの関連	<p>基本目標</p> <p>1. 安心安全に暮らせるまち 地域全体で要配慮者の支援を考えます。 子どもや高齢者の見守りに取り組みます。</p> <p>3. 地域力のあるまち 自治会活動を地域全体にアピールします。</p>																																
目的 (期待される効果)	自治会、民児協、福祉協力員で情報を交換し、要支援者の実態把握を行うとともに、見守り・支援方法を検討し、情報を共有する。																																
事業内容・手段	<p>(1) 地区(自治会単位)情報交換会の推進 会場 各自治会公民館 等 実施時期 4月～翌3月 内容 要支援者の情報共有と支援方法の検討 実施地区 末元(2/7)、鶴島(3/10)</p> <p>(2) 視察研修会の実施 視察先 ①高鍋町社会福祉協議会 ②石井記念友愛社 実施日 1月22日(水) 内容 ①社協塾(学習支援事業)の取組について ②施設見学</p> <p>(3) 福祉協力員研修会 会場 小戸地域開放ふれあい会議室 実施日 6月28日(金) 内容 ①地域における見守り活動について(市社協) ②地域包括支援センターの役割と業務について(包括) ③いきいき手帳について(地域包括ケア推進課)</p>																																
事業費	204,196円																																
対象者	まち推委員(自治会長、民生委員児童委員、福祉協力員)																																
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="3">令和6年度</th> <th colspan="3">令和5年度</th> </tr> <tr> <th>地区情報交換会</th> <th>視察</th> <th>研修&amp;座談会</th> <th>地区情報交換会</th> <th>視察</th> <th>研修&amp;座談会</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td rowspan="3">2地区 (2回)</td> <td>22人</td> <td>28人</td> <td rowspan="3">5地区 (5回)</td> <td>27人</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>3人</td> <td>5人</td> <td>2人</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>25人</td> <td>33人</td> <td>29人</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>※事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年度	令和6年度			令和5年度			地区情報交換会	視察	研修&座談会	地区情報交換会	視察	研修&座談会	一般参加者	2地区 (2回)	22人	28人	5地区 (5回)	27人	—	スタッフ	3人	5人	2人	—	合計	25人	33人	29人	—
年度	令和6年度				令和5年度																												
	地区情報交換会	視察	研修&座談会	地区情報交換会	視察	研修&座談会																											
一般参加者	2地区 (2回)	22人	28人	5地区 (5回)	27人	—																											
スタッフ		3人	5人		2人	—																											
合計		25人	33人		29人	—																											
住民の声(アンケートの結果等)																																	

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	B	B	事務局職員が出席し、各自治会の地区情報交換会の実施状況を把握した。	広報	⑤事業の周知	A	A	各自治会へ文書(お願い)郵送。視察研修会等は自治会長、民生委員、福祉協力員等へ個別に案内を郵送した。
	②住民の参加	B	B	地区情報交換会は、各自治会で差がある。視察研修会は、自治会長、民生委員、福祉協力員、等の多くの参加がある。		事業の効果	⑥課題解決への作用	B	B
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	見守り対象者の増加に合わせて、今後も各自治会への情報交換会実施のお願い文書の発送、呼び掛けが必要である。	事業の必要性		⑦住民の満足度	B	B
	④各種団体との連携	A	A	今後も市社協・地域包括支援センターと連携し、情報の共有や見守り・支援方法の検討に努める。		事業継続の必要性	有	・ 無	
良かった点・改善点等	<p>&lt;良かった点や改善した点等&gt;</p> <p>視察研修会は、個人の視野を広げたり、子どもたちの学習支援や地域における居場所づくりについて学ぶことが出来た。 また、参加者も多く、地域の方々が交流を深める良い機会となっている。</p>								
地域協議会からの意見への対応	<p>&lt;地域協議会からの意見（令和 年 月・令和 年度）&gt;</p> <p>&lt;意見への対応&gt;</p>						対応	未・済	
	<p>&lt;地域協議会からの意見（令和 年 月・令和 年度）&gt;</p> <p>&lt;意見への対応&gt;</p>						対応	未・済	

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

事業名	ふれあい会食会事業	実施年数	16年目															
事業期間	開始：平成21年度	終了：令和6年度																
地域魅力発信プランとの関連	基本目標 1. 安心安全に暮らせるまち 子どもや高齢者の見守りに取り組みます。 2. ふれあいのあるまち 地域資源を活用した事業を考えます。 3. 地域力のあるまち 自治会活動を地域全体にアピールします。																	
目的 (期待される効果)	健康運動やレクリエーション等を付加した会食会を開催することにより、高齢者の生きがいづくりや引きこもり防止を図る。																	
事業内容・手段	(1) 地区(自治会単位)ふれあい会食会の推進 会場    自治公民館、福祉施設の一室、マンション集会場 等 実施時期    4月～翌3月 内    容    健康講話、健康体操、栄養指導、ゲーム、会食 等 実施地区    鶴島(5/17、7/19)、西高松(9/8、2/16) 末元(11/30、12/14)、鶴島団地(9/15) (2) 小戸地区(全体)ふれあい会食会の実施 会場    小戸地域開放ふれあい会議室 実施日    9月18日(水) 内    容    健康講話、健康体操、栄養指導、会食 等																	
事業費	243,171円																	
対象者	地域住民																	
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和6年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>4自治会(7回) 小戸地区(1回)</td> <td>5自治会(14回) 小戸地区(1回)</td> </tr> <tr> <td>一般参加者</td> <td>延べ 152人</td> <td>延べ 252人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>延べ 40人</td> <td>延べ 124人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>延べ 192人</td> <td>延べ 376人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年 度	令和6年度	令和5年度		4自治会(7回) 小戸地区(1回)	5自治会(14回) 小戸地区(1回)	一般参加者	延べ 152人	延べ 252人	スタッフ	延べ 40人	延べ 124人	合 計	延べ 192人	延べ 376人
年 度	令和6年度	令和5年度																
	4自治会(7回) 小戸地区(1回)	5自治会(14回) 小戸地区(1回)																
一般参加者	延べ 152人	延べ 252人																
スタッフ	延べ 40人	延べ 124人																
合 計	延べ 192人	延べ 376人																
住民の声(アンケートの結果等)																		

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	事業実施時にアンケートを行い、次年度の参考にしている。	広報	⑤事業の周知	A	A	自治会加入者世帯へチラシの各戸配布を実施している。各自治会の掲示板を活用している。
	②住民の参加	B	B	小戸地区会食会で歌唱など新しい試みを行ったが、同じ方々が多く、広がりがありなかった。地区会食会も同じ傾向である。			事業の効果	⑥課題解決への作用	B
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	小戸地区会食会と地区会食会ともに、それぞれ趣向を凝らし、参加者にも喜ばれた。	事業の効果	⑦住民の満足度			A
	④各種団体との連携	A	A	小戸地区内の医療センター病院、地域包括支援センターの協力のもと、実施することができた。			事業継続の必要性		有 ・ ⑧無
良かった点・改善点等		<良かった点や改善した点等> 普段外出したり集まって食事をする機会が減ってきている中で、会食会に参加することを通じて、地域の方々が交流を持つことができた。							
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・令和 年度）>						対応		未 ・ 済
	<意見への対応>						対応		未 ・ 済
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・令和 年度）>						対応		未 ・ 済
	<意見への対応>						対応		未 ・ 済

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

事業名	地域福祉推進事業	実施年数	10年目																									
事業期間	開始：平成27年度	終了：なし																										
地域魅力発信プランとの関連	基本目標 1. 安心安全に暮らせるまち 地域全体で要配慮者の支援を考えます。 2. ふれあいのあるまち 地域資源を活用した事業を考えます。																											
目的 (期待される効果)	地域福祉活動の充実、地域性やスキルを活かしながら課題解決を目指す取組を行う。																											
事業内容・手段	(1) おどみんなのしょくどうの支援 会場 小戸小学校家庭科教室 実施日 毎月第3土曜日 11:30～13:00 内容 参加者保険の加入。 実行委員会・小戸小との連絡調整。 (2) 音楽サロンかすみの支援 会場 スタンドかすみ 実施日 毎月第3火曜日 14:00～16:00 内容 参加者保険の加入。 スタンドかすみ・地域包括支援センターとの連絡調整。 (3) シニアイベントの実施 会場 小戸地域開放ふれあい会議室及び多目的ホール 実施日 10月13日(日) 9:30～12:30 内容 市民活動団体えんがわひなたと協働で、令和6年度市町村・地域づくり団体等協働モデル事業補助金を活用しシニアイベントを開催する。 ※イベント参加者数：約100人																											
事業費	55,712円																											
対象者	地域住民、まち推委員(自治会長、民生委員児童委員、福祉協力員)、地縁団体、福祉施設																											
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年 度</th> <th colspan="2">令和6年度</th> <th colspan="2">令和5年度</th> </tr> <tr> <th>みんなのしょくどう</th> <th>サロンかすみ</th> <th>みんなのしょくどう</th> <th>サロンかすみ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>延べ 141人</td> <td>延べ56人</td> <td>延べ 176人</td> <td>延べ 53人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>延べ 58人</td> <td>延べ19人</td> <td>延べ 73人</td> <td>延べ 32人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>延べ 199人</td> <td>延べ75人</td> <td>延べ 249人</td> <td>延べ 85人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>				年 度	令和6年度		令和5年度		みんなのしょくどう	サロンかすみ	みんなのしょくどう	サロンかすみ	一般参加者	延べ 141人	延べ56人	延べ 176人	延べ 53人	スタッフ	延べ 58人	延べ19人	延べ 73人	延べ 32人	合 計	延べ 199人	延べ75人	延べ 249人	延べ 85人
年 度	令和6年度		令和5年度																									
	みんなのしょくどう	サロンかすみ	みんなのしょくどう	サロンかすみ																								
一般参加者	延べ 141人	延べ56人	延べ 176人	延べ 53人																								
スタッフ	延べ 58人	延べ19人	延べ 73人	延べ 32人																								
合 計	延べ 199人	延べ75人	延べ 249人	延べ 85人																								
住民の声 (アンケートの結果等)																												

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	日頃より市社協・地域包括支援センター・福祉事業所と情報共有を行っている。	広報	⑤事業の周知	A	A	自治会回覧時に、班回覧でチラシを配布している。また、まちづくりのSNSを活用した情報発信を行っている。
	②住民の参加	A	A	みんなのしょくどうは、ボランティアで民生委員や公募の方々のお手伝いがある。		事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	参加者はもちろん、ボランティアの方々にとっても、ふれあいややりがい等を得られる場となっており意味のある事業となっている。	事業の必要性		⑦住民の満足度	A	A
	④各種団体との連携	A	A	かすみは市社協・地域包括支援センターの協力のもと運営している。		事業継続の必要性	有	無	
良かった点・改善点等	<良かった点や改善した点等> 市民活動団体えんがわひなたと協働で、令和6年度市町村地域づくり団体等協働モデル事業補助金を活用しシニアイベントを開催し、参加者も多く、地域の方々が交流を深める良い機会となった。								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・令和 年度）>						対応	未・済	
	<意見への対応>								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・令和 年度）>						対応	未・済	
	<意見への対応>								

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

事業名	子育て支援事業	実施年数	10年目												
事業期間	開始：平成27年度	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	基本目標 1. 安心安全に暮らせるまち 子どもや高齢者の見守りに取り組みます。														
目的 (期待される効果)	子育ての孤立化をなくし、若い親世代が小戸地域で安心して子育てができる環境づくりを支援する。 親同士、支援者との情報交換などの交流や子育てのストレスの解消の場を提供することで、子育て中の親同士、地域住民とのつながりを深め、サポートしあえる関係の構築に繋げていく。														
事業内容・手段	(1) 子育てサロン「なかよし」の実施 会場 鶴島自治公民館 実施日 毎月第2木曜日10:00～11:30 ※事前申込不要・参加費無料 ※公募でのボランティアと部会員、および民生委員児童委員等で運営。														
事業費	68,525円														
対象者	地域住民(未就学児とその保護者)														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和6年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>延べ 80人 (親子延べ 38組)</td> <td>延べ 108人 (親子延べ 52組)</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>延べ 58人</td> <td>延べ 58人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>延べ 138人</td> <td>延べ 166人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年 度	令和6年度	令和5年度	一般参加者	延べ 80人 (親子延べ 38組)	延べ 108人 (親子延べ 52組)	スタッフ	延べ 58人	延べ 58人	合 計	延べ 138人	延べ 166人
年 度	令和6年度	令和5年度													
一般参加者	延べ 80人 (親子延べ 38組)	延べ 108人 (親子延べ 52組)													
スタッフ	延べ 58人	延べ 58人													
合 計	延べ 138人	延べ 166人													
住民の声(アンケートの結果等)															

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	B	B	参加者から直接話を聞いたり、スタッフの中には、チラシを持ち歩き、親子連れを見かけたら、配布している。	広報	⑤事業の周知	A	A	自治会回覧時に、各戸配布でチラシを配布している。また、まちづくりのSNSを活用した情報発信を行っている。
	②住民の参加	A	A	毎回参加の親子や、小戸地区外からの参加もある。ボランティアで、民生委員や公募の方々のお手伝いがある。			事業の効果	⑥課題解決への作用	A
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	参加者はもちろん、ボランティアの方々にとっても、ふれあいややりがい等を得られる場となっており意味のある事業となっている。	⑦住民の満足度	A			A
	④各種団体との連携	A	A	民生委員にスタッフとして携わって頂いている。市保健所の母子保健コーディネーターの方にも協力いただいている。		事業継続の必要性		有 ・ 無	
良かった点・改善点等	<良かった点や改善した点等> 新しい親子の参加もあり、コミュニケーションの場の提供ができた。								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・令和 年度）>				<意見への対応>	対応	未・済		
	<地域協議会からの意見（令和 年 月・令和 年度）>						<意見への対応>	対応	未・済

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

[3] 環境に係る事業

事業名	花のまちづくり事業	実施年数	16年目																									
事業期間	開始：平成21年度	終了：なし																										
地域魅力発信 プランとの関連	基本目標 2. ふれあいのあるまち 三世代の交流を進めます。																											
目的 (期待される効果)	地域住民の美化活動に対する意識を向上させ、住民同士のコミュニケーションの場とする。																											
事業内容・手段	<p>(1) 花の寄せ植え講習会の実施</p> <p>《第1回》 会 場 小戸地域開放ふれあい会議室および駐車場 実 施 日 6月8日(土) 内 容 花の寄せ植え講習</p> <p>《第2回》 会 場 小戸小学校社会教育室および中庭 実 施 日 12月7日(土) 内 容 花の寄せ植え講習</p>																											
事業費	139,971円																											
対象者	地域住民																											
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年 度</th> <th colspan="2">令和6年度</th> <th colspan="2">令和5年度</th> </tr> <tr> <th>第1回</th> <th>第2回</th> <th>第1回</th> <th>第2回</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>33人</td> <td>37人</td> <td>30人</td> <td>29人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>11人</td> <td>11人</td> <td>8人</td> <td>7人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>44人</td> <td>48人</td> <td>38人</td> <td>36人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>				年 度	令和6年度		令和5年度		第1回	第2回	第1回	第2回	一般参加者	33人	37人	30人	29人	スタッフ	11人	11人	8人	7人	合 計	44人	48人	38人	36人
年 度	令和6年度		令和5年度																									
	第1回	第2回	第1回	第2回																								
一般参加者	33人	37人	30人	29人																								
スタッフ	11人	11人	8人	7人																								
合 計	44人	48人	38人	36人																								
住民の声(アンケートの結果等)																												

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	B	B	事業実施時にアンケート調査を行っている。	広報	⑤事業の周知	A	A	自治会回覧時に、各戸配布でチラシを配布している。
	②住民の参加	A	A	会場を2ヶ所に分けての開催であるが、どちらも多くの参加があり、毎年参加の方もいる。		事業の効果	⑥課題解決への作用	B	B
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	花に親しみ、毎年多くの方に参加してもらっている。			⑦住民の満足度	A	A
	④各種団体との連携	A	A		事業継続の必要性		○有 ・ 無		
良かった点・改善点等	<良かった点や改善した点等> 参加者アンケートに寄せられた意見を基に、春と秋に分けて開催したことで、寄せ植えの内容も変えることができ参加者にも喜ばれている。								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・令和 年度）>						対応	未・済	
	<意見への対応>							対応	未・済
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・令和 年度）>						対応		未・済
	<意見への対応>							対応	未・済

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

[4] 地域再生に係る事業

事業名	ボランティア育成事業	実施年数	12年目																						
事業期間	開始：平成25年度	終了：なし																							
地域魅力発信 プランとの関連	基本目標 3. 地域力のあるまち まちづくりを担う人材の発掘と育成に努めます。																								
目的 (期待される効果)	まちづくりに必要なボランティアスタッフを発掘・育成するために、ボランティア募集や研修会を開催する。																								
事業内容・手段	<p>(1) ボランティア募集のチラシ配布 実施時期 4月～翌3月 内 容 中央西まちづくり推進委員会と共同で、宮崎西中あてに年に2回チラシを配布する。 ※中学生ボランティア数：延べ94人</p> <p>(2) ボランティア研修会の実施 会 場 未定 中止 実 施 日 未定 内 容 令和3年度に地域福祉部会が民生委員の見守り対象者に実施した日常生活に関するアンケート調査の結果を踏まえて行う。</p> <p>(3) 傾聴ボランティア太陽の会の支援 内 容 参加者保険の加入。 福祉施設・市社協との連絡調整。</p>																								
事業費	14,600円																								
対象者	地域住民																								
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年 度</th> <th colspan="2">令和6年度</th> <th colspan="2">令和5年度</th> </tr> <tr> <th>ボランティア募集</th> <th>研修会</th> <th>ボランティア募集</th> <th>研修会</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>延べ94人</td> <td>—</td> <td>—</td> <td rowspan="3">中止</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>延べ94人</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>※事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年 度	令和6年度		令和5年度		ボランティア募集	研修会	ボランティア募集	研修会	一般参加者	延べ94人	—	—	中止	スタッフ	—	—	—	合 計	延べ94人	—	—
年 度	令和6年度		令和5年度																						
	ボランティア募集	研修会	ボランティア募集	研修会																					
一般参加者	延べ94人	—	—	中止																					
スタッフ	—	—	—																						
合 計	延べ94人	—	—																						
住民の声 (アンケートの結果等)																									

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	B	B	中央西まちづくり推進委員会と共同でボランティア募集チラシを作成した。	広報	⑤事業の周知	B	B	自治会回覧時に、各戸配布でチラシを配布している。また、宮崎西中あてにボランティア募集チラシを配布している。
	②住民の参加	B	B	子育てサロン、交通見守り等参加はあるが、各事業において、マンパワーが足りていない。			事業の効果	⑥課題解決への作用	B
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	今年度は、部会の中で他地区の取り組みについて学んだ。	⑦住民の満足度	B			B
	④各種団体との連携	B	B			事業継続の必要性		有・無	
良かった点・改善点等	<良かった点や改善した点等> 防災訓練や小戸地区大運動会では、自治会配布チラシに加えて、宮崎西中あてにチラシを配布し呼掛けを行い、多くのボランティアを確保することができた。								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和6年3月・令和6年度事業計画）> ボランティアの募集や育成について、新たな人材がまちづくりに加わることで活動がより活性化されるよう、事業の充実に努めてください。						対応	未・済	
	<意見への対応> 中央西まちづくり推進委員会と共同で、宮崎西中あてにボランティア募集チラシを配布するなど、新たな人材がまちづくりに加わるよう努めた。								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・令和 年度）>						対応	未・済	
	<意見への対応>								

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会から出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄に記載する必要はありません。

[5] 健康づくりに係る事業

事業名	小戸地区大運動会事業	実施年数	11年目															
事業期間	開始：平成26年度	終了：なし																
地域魅力発信 プランとの関連	基本目標 2. ふれあいのあるまち 三世代の交流を進めます。																	
目的 (期待される効果)	地域住民が楽しみながら健康増進を図り、コミュニケーションをとることで絆を深める。 子どもから高齢者まで一緒に競技をすることで、お互いを思いやり、助け合う心を育てる。 自治会と体育会が連携し、地域を盛り上げる。																	
事業内容・手段	<p>(1) 小戸地区大運動会の実施</p> <p>会場 小戸小学校体育館およびグラウンド</p> <p>実施日 11月3日(日・祝日)</p> <p>内容 パン食い競争、お宝釣りゲーム、リレー、徒競走、段ボール転がし、玉入れ、小戸音頭 他</p> <p>※令和3年度より、小戸地区大運動会事業と小戸地区まつり事業を交互に開催予定。</p>																	
事業費	478,548円																	
対象者	地域住民																	
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和6年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者(大人)</td> <td>90人</td> <td>113人</td> </tr> <tr> <td>一般参加者(小人)</td> <td>55人</td> <td>54人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>48人</td> <td>37人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>193人</td> <td>204人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年 度	令和6年度	令和4年度	一般参加者(大人)	90人	113人	一般参加者(小人)	55人	54人	スタッフ	48人	37人	合 計	193人	204人
年 度	令和6年度	令和4年度																
一般参加者(大人)	90人	113人																
一般参加者(小人)	55人	54人																
スタッフ	48人	37人																
合 計	193人	204人																
住民の声(アンケートの結果等)																		

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	B	事業後の参加者の声や反省会での意見を踏まえて、今年度も実施した。	広報	⑤事業の周知	A	A	自治会加入者世帯へチラシの各戸配布を実施している。各自治会の掲示板を活用している。
	②住民の参加	A	B	子ども達のイベント・習い事等増えていることから、今年度も子どもの参加はあまり多くなかった。		事業の効果	⑥課題解決への作用	A	B
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	三世代交流ができる絆づくりの行事として、メインとなる大きな行事だと考える。	事業の必要性		⑦住民の満足度	A	A
	④各種団体との連携	A	A	今年度も、小戸地区体育会や、市きずなプロジェクトチームの参加、協力をいただいた。		事業継続の必要性	有	無	
良かった点・改善点等	<良かった点や改善した点等> 今年度は、混み合う受付がスムーズに進むように改善した。 小戸小PTAなどと協力し、種目の参加者数を見ながら柔軟に進行を行うことが出来た。								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和6年3月・令和6年度事業計画）> 各自治会や関係団体と連携を図り、役割分担を明確にして事業に取り組んでください。						対応	未・済	
	<意見への対応> 各自治会や関係団体と連携を図り、役割分担を明確にして事業に取り組んだ。							未・済	
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・令和 年度）>						対応	未・済	
	<意見への対応>							未・済	

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

事業名	体育会との連携事業	実施年数	15年目																										
事業期間	開始：平成22年度	終了：なし																											
地域魅力発信 プランとの関連	基本目標 2. ふれあいのあるまち 三世代の交流を進めます。																												
目的 (期待される効果)	住民同士の交流・健康増進の場とし、小戸体育会と共に地域のスポーツ振興を図る。																												
事業内容・手段	<p>(1) 小戸地区ラジオ体操会の実施 会 場 小戸小学校体育館 実 施 日 8月3日(土) ※宮崎市ラジオ体操会に合わせて行う。</p> <p>(2) 小戸地区ミニバレー大会の実施 会 場 小戸小学校体育館 実 施 日 7月28日(日)</p> <p>(3) 小戸地区ニュースポーツ大会の実施 会 場 小戸小学校グラウンドまたは体育館 実 施 日 未定 中止 内 容 未定</p>																												
事業費	60,016円																												
対象者	地域住民																												
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年 度</th> <th colspan="3">令和6年度</th> <th colspan="3">令和5年度</th> </tr> <tr> <th>ラジオ体操</th> <th>ミニバレー</th> <th>ニュースポーツ</th> <th>ラジオ体操</th> <th>ミニバレー</th> <th>ニュースポーツ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td rowspan="3">約 100 名</td> <td>35人</td> <td rowspan="3">なし</td> <td>約 24人</td> <td rowspan="3">なし</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>6人</td> <td>6人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>41人</td> <td>30人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年 度	令和6年度			令和5年度			ラジオ体操	ミニバレー	ニュースポーツ	ラジオ体操	ミニバレー	ニュースポーツ	一般参加者	約 100 名	35人	なし	約 24人	なし		スタッフ	6人	6人	合 計	41人	30人
年 度	令和6年度				令和5年度																								
	ラジオ体操	ミニバレー	ニュースポーツ	ラジオ体操	ミニバレー	ニュースポーツ																							
一般参加者	約 100 名	35人	なし	約 24人	なし																								
スタッフ		6人		6人																									
合 計		41人		30人																									
住民の声 (アンケートの結果等)																													

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	B	B	住民のニーズを把握する機会が、なかなか持てなかった。	広報	⑤事業の周知	A	A	参加募集チラシへの反応は少ないものの、担当部会員の積極的な参加呼掛けで周知ができた。
	②住民の参加	B	B	ラジオ体操会はお天気も良く多くの参加者があり良かった。		事業の効果	⑥課題解決への作用	B	C
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	スポーツ人口を広げる為に、平成22年度から体育会と共催し、行っている事業である。			⑦住民の満足度	B	B
	④各種団体との連携	A	A	地区体育会と連携し、役割分担することで、スムーズな運営ができた。	事業継続の必要性				有・無
良かった点・改善点等	<良かった点や改善した点等> ミニバレーボール大会では、子供から大人まで和気あいあいとしたプレーで楽しんでもらえたので良かった。								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・令和 年度）>						対応	未・済	
	<意見への対応>								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・令和 年度）>						対応	未・済	
	<意見への対応>								

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

事業名	歩こう会事業	実施年数	4年目												
事業期間	開始：令和3年度	終了：なし													
地域魅力発信 プランとの関連	基本目標 2. ふれあいのあるまち 三世代の交流を進めます。														
目的 (期待される効果)	青少年育成協議会・中央西まちづくり推進委員会と共に、伝統ある「みんなで歩こう会」を盛り上げ、地域住民の交流や健康増進を図る。														
事業内容・手段	(1) 歩こう会の実施 会場 小戸小学校グラウンド (ここをスタート・ゴール地点とする) 天神山公園・橘公園コース 実施日 11月23日(土・祝日) 8:30~12:00 内容 歩こう会(ウォーキング) 豚汁のふるまい レクリエーション 主催 宮崎市中央地区青少年育成協議会 共催 小戸まちづくり推進委員会														
事業費	11,592円														
対象者	地域住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和6年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>約200人</td> <td>約225人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※中央西地域自治区の参加者を含む。  ※事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年度	令和6年度	令和5年度	一般参加者	—	—	スタッフ	—	—	合計	約200人	約225人
年度	令和6年度	令和5年度													
一般参加者	—	—													
スタッフ	—	—													
合計	約200人	約225人													
住民の声(アンケートの結果等)															

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目	評価		特記事項		評価項目	評価		特記事項	
	本年度	前年度				本年度	前年度		
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	事業実施時にアンケートを行ったり、参加者から直接話を聞いて次年度の参考にしていく。	広報	⑤事業の周知	A	A	自治会加入者世帯、小戸小と宮崎西中へチラシの配布を実施している。各自治会の掲示板を活用している。
	②住民の参加	A	A	子ども達のイベント・習い事等増えていることから、コロナ前と比べて子どもの参加はあまり多くなかった。		事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	三世代交流ができる絆づくりの行事だと考える。	事業の必要性		⑦住民の満足度	A	A
	④各種団体との連携	A	A	今年度は、青少協と中央西まちづくり推進委員会と協力し、役割分担することで、スムーズな運営ができた。		事業継続の必要性	有	無	
良かった点・改善点等	<良かった点や改善した点等> 青少協と協力し、役割と費用分担を明確にしながら、スムーズな運営ができた。								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・令和 年度）>  <意見への対応>				対応	未・済			
	<地域協議会からの意見（令和 年 月・令和 年度）>  <意見への対応>				対応	未・済			

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会から出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄に記載する必要はありません。

[6] 伝統文化に係る事業

事業名	しめ縄飾り体験事業	実施年数	15年目												
事業期間	開始：平成22年度	終了：なし													
地域魅力発信 プランとの関連	<p>基本目標</p> <p>2. ふれあいのあるまち 三世代の交流を進めます。</p> <p>3. 地域力のあるまち 地域の伝統行事を地域にアピールします。</p>														
目的 (期待される効果)	日本の風習に触れる機会とし、三世代交流の場とすることで、地域住民同士の絆を深める。														
事業内容・手段	<p>(1) しめ縄飾り体験の実施</p> <p>会 場 小戸小学校理科室 ※門松制作は正門前で行う。</p> <p>実 施 日 12月21日(土)</p> <p>内 容 しめ縄の飾りつけ体験、門松制作(1台)</p>														
事業費	101,889円														
対象者	地域住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和6年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>39人</td> <td>40人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>14人</td> <td>9人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>53人</td> <td>49人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年 度	令和6年度	令和5年度	一般参加者	39人	40人	スタッフ	14人	9人	合 計	53人	49人
年 度	令和6年度	令和5年度													
一般参加者	39人	40人													
スタッフ	14人	9人													
合 計	53人	49人													
住民の声(アンケートの結果等)															

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	事業実施時にアンケート調査を行っている。	広報	⑤事業の周知	A	A	自治会回覧時に、各戸配布でチラシを配布している。
	②住民の参加	A	A	親子と祖父母での参加があり、三世代交流もみられる。		事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	伝統文化に親しみ、毎年多くの方に参加してもらっている。			⑦住民の満足度	A	A
	④各種団体との連携	A	A	今年度も、部会員で門松を製作し小戸小に寄贈した。	事業継続の必要性		① 有 ・ 無		
良かった点・改善点等	<良かった点や改善した点等> 地域の方がボランティアに手を挙げてくださり、受付作業がスムーズに行えた。								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・令和 年度）>						対応	未・済	
	<意見への対応>								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・令和 年度）>						対応	未・済	
	<意見への対応>								

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

[7] 地域教育に係る事業

事業名	小戸小との連携事業	実施年数	13年目																								
事業期間	開始：平成24年度	終了：令和6年度																									
地域魅力発信プランとの関連	<p>基本目標</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 安心安全に暮らせるまち 地域全体で要配慮者の支援を考えます。</li> <li>2. ふれあいのあるまち 三世代の交流を進めます。</li> <li>3. 地域力のあるまち まちづくりを担う人材の発掘と育成に努めます。</li> </ol>																										
目的 (期待される効果)	<p>地域住民が各学年の授業に参加・支援することで、「地域の子どもは地域で育てる」という意識を高め、地域と学校との連携を深める。 PTAとの連携を図り、小学校を中心に地域を活性化する。</p>																										
事業内容・手段	<p>小戸小6年生総合学習「共に生きよう」の授業支援・参加</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 「共に生きよう みんな仲間」地域の方の講話(6年生) 会場 小戸小 実施日 6月14日(金)</li> <li>(2) 「共に生きよう みんな仲間」福祉体験(車いす、アイマスク)(6年生) 会場 小戸小 実施日 未定</li> <li>(3) 「共に生きよう みんな仲間」認知症サポーター養成講座(6年生) 会場 小戸小体育館 実施日 12月18日(水)</li> <li>(4) 「共に生きよう みんな仲間」まとめの発表会(6年生) 会場 小戸小体育館 実施日 <del>2月</del> 中止</li> <li>(5) 「共に生きよう みんな仲間」福祉啓発リーフレット作成(6年生) 実施日 <del>3月</del> 中止</li> </ol> <p>小戸小4年生への小戸音頭振付指導 会場 小戸小 実施日 9月9日(月)・9月12日(木)</p> <p>小戸小PTAと連携</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 水祭り(全学年) 会場 小戸小グラウンド 実施日 8月17日(土) ※参加者数：約100名</li> <li>(2) ダンボールキャンプ 会場 小戸小グラウンド・体育館 実施日 9月21日(土)～9月22日(日) ※参加者数：54名(スタッフ19名を含む)</li> </ol>																										
事業費	73,259円																										
対象者	小戸小児童、まち推委員(自治会長、民生委員児童委員、福祉協力員)、地縁団体、地域住民																										
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年 度</th> <th colspan="2">令和6年度</th> <th colspan="2">令和5年度</th> </tr> <tr> <th>認知症学習</th> <th>小戸音頭</th> <th>認知症学習</th> <th>小戸音頭</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童(延べ人数)</td> <td>約110人</td> <td>約104人</td> <td>約130人</td> <td>約114人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ(延べ人数)</td> <td>約15人</td> <td>4人</td> <td>約10人</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>約125人</td> <td>108人</td> <td>約140人</td> <td>118人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年 度	令和6年度		令和5年度		認知症学習	小戸音頭	認知症学習	小戸音頭	児童(延べ人数)	約110人	約104人	約130人	約114人	スタッフ(延べ人数)	約15人	4人	約10人	4人	合 計	約125人	108人	約140人	118人
年 度	令和6年度		令和5年度																								
	認知症学習	小戸音頭	認知症学習	小戸音頭																							
児童(延べ人数)	約110人	約104人	約130人	約114人																							
スタッフ(延べ人数)	約15人	4人	約10人	4人																							
合 計	約125人	108人	約140人	118人																							
住民の声(アンケートの結果等)																											

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	どの点において協力(学習支援)が必要かなど、小戸小に確認を取りながら行っている。	広報	⑤事業の周知	—	—	
	②住民の参加	—	—			事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	地域の方々が学習支援に参加できる場が減ってきており、取組みを見直す必要も出てきている。			⑦住民の満足度	—	—
	④各種団体との連携	—	—		事業継続の必要性		有 ・ ④無		
良かった点・改善点等	<良かった点や改善した点等> これまでの学習を振り返り、児童がそれぞれ気付いたことや分かったことをまとめたプリントを作成しました。6年生が学んだことを、5年生に引き継ぎ、来年度に活かして欲しい。								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・令和 年度）>						対応	未・済	
	<意見への対応>							未・済	
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・令和 年度）>						対応	未・済	
	<意見への対応>							未・済	

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

[8] その他の事業

事業名	まちづくり広報事業	実施年数	14年目												
事業期間	開始：平成23年度	終了：なし													
地域魅力発信 プランとの関連															
目的 (期待される効果)	本会の活動状況や福祉情報を地域住民や関係団体へ発信し、周知を図る。														
事業内容・手段	<p>(1) 広報紙「まち推だより」の発行  第30号（令和6年7月配布）3,500部  第31号（令和7年3月配布）3,500部</p> <p>(2) SNSを活用した広報活動  SNS（Facebook、LINE）を活用し、若い世代をはじめとする幅広い年齢層への情報周知に努める。</p>														
事業費	370,260円														
対象者	地域住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和6年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>※事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年度	令和6年度	令和5年度	一般参加者	—	—	スタッフ	—	—	合計	—	—
年度	令和6年度	令和5年度													
一般参加者	—	—													
スタッフ	—	—													
合計	—	—													
住民の声（アンケートの結果等）															

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	—	—		広報	⑤事業の周知	B	B	紙媒体だけではなく、まちづくりのSNSを活用した情報発信を行っている。
	②住民の参加	—	—		事業の効果	⑥課題解決への作用	B	B	広報紙の内容をさらに検討し、ボランティア確保にも繋げていきたい。
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	住民がまちづくりの活動に参加するきっかけになるように、今後も積極的にまち推の活動を広めていきたい。		⑦住民の満足度	—	—	
	④各種団体との連携	—	—		事業継続の必要性				有・無
良かった点・改善点等	<p>&lt;良かった点や改善した点等&gt;            SNS（LINE、Facebook）を活用し、子育て世代や若者にまち推の活動を広めていくことができると思う。</p>								
地域協議会からの意見への対応	<p>&lt;地域協議会からの意見（令和 年 月・令和 年度）&gt;</p> <p>&lt;意見への対応&gt;</p>						対応	未・済	
	<p>&lt;地域協議会からの意見（令和 年 月・令和 年度）&gt;</p> <p>&lt;意見への対応&gt;</p>						対応	未・済	

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

事業名	まちづくり活動支援事業	実施年数	13年目																					
事業期間	開始：平成24年度	終了：なし																						
地域魅力発信 プランとの関連																								
目的 (期待される効果)	事務局運営、およびまちづくり事業・自治会活動をスムーズに運営できるよう、車のリース等を行う。																							
事業内容・手段	(1) 車両のリース まち推運営・事業、地域や自治会活動等で使用のため。 (2) まちづくり備品の点検および修理・修繕 (3) 地域団体への車両および備品貸し出し (4) 小戸音頭を活用したまちづくりの推進 (5) 事務局の円滑な運営																							
事業費	1,154,627円																							
対象者	地域住民																							
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年 度</th> <th colspan="2">令和6年度</th> <th colspan="2">令和5年度</th> </tr> <tr> <th>小戸音頭</th> <th>備品貸し出し</th> <th>小戸音頭</th> <th>備品貸し出し</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>—</td> <td rowspan="3">25回</td> <td>延べ25人</td> <td rowspan="3">18回</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>—</td> <td>延べ7人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>—</td> <td>延べ32人</td> </tr> </tbody> </table>				年 度	令和6年度		令和5年度		小戸音頭	備品貸し出し	小戸音頭	備品貸し出し	一般参加者	—	25回	延べ25人	18回	スタッフ	—	延べ7人	合 計	—	延べ32人
年 度	令和6年度		令和5年度																					
	小戸音頭	備品貸し出し	小戸音頭	備品貸し出し																				
一般参加者	—	25回	延べ25人	18回																				
スタッフ	—		延べ7人																					
合 計	—		延べ32人																					
	※事業内容に応じて男女別や年代別データ																							
住民の声 (アンケートの結果等)																								

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	—	—		広報	⑤事業の周知	B	B	今後も、自治会だけでなく、子ども会等にもリース車両やその他備品を活用していただけるよう積極的な周知が必要である。
	②住民の参加	—	—			事業の効果	⑥課題解決への作用	—	—
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	「まちづくり推進委員会」と明記してある車両を、自治会活動等に利用されることで、まち推のPRにも繋がる。			⑦住民の満足度	—	—
	④各種団体との連携	—	—		事業継続の必要性		① 有 ・ 無		
良かった点・改善点等	<良かった点や改善した点等> コロナが明け、車両や備品の利用が増えてきており、今後も地域で有効に備品が活用されるように周知していく。また、小戸音頭を地域に根付くよう努める。								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・令和 年度）>						対応	未・済	
	<意見への対応>								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・令和 年度）>						対応	未・済	
	<意見への対応>								

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

## 事業別収支計算書

小戸地域自治区  
小戸まちづくり推進委員会

事業名	防災訓練事業
-----	--------

## (1) 収入の部 (単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	27,302	(基礎交付金)
2	社会福祉協議会補助金	30,000	※地域福祉基本事業費補助 災害に備えた支援体制の整備
3	繰越金	80,000	
4	参加者負担金	0	
5	災害積立基金	69,040	※災害積立基金697,250円(今年度予算)の執行残額を流用
6	合計(A)	206,342	

## (2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費		
3	旅費		
4	需用費	164,670	消耗品費 <u>328</u> 円 ・トイレットペーパー 328 食糧費 <u>7,392</u> 円 ・研修会参加者お茶1箱24本×2箱 3,792 ・防災訓練スタッフ用お茶1箱24本×2箱 3,600 会議費<社協対応> <u>18,200</u> 円 ・研修会参加者茶菓子 18,200 印刷製本費 <u>138,750</u> 円 ・防災研修会用横断幕 480 ・防災訓練参加者募集チラシ 138,270
5	役務費	41,672	通信運搬費 <u>21,232</u> 円 ・研修会等案内文書、出欠返信用紙等 21,232 保険料 <u>20,440</u> 円 ・研修会参加者保険55人分 1,540 ・訓練参加者保険150人分 18,900
6	委託料		
7	使用料及び賃借料		
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	合計(B)	206,342	

収支差額(A) - (B)	0
---------------	---

(様式第6号)

事業別収支計算書

小戸地域自治区  
小戸まちづくり推進委員会

事業名	交通安全見守り事業
-----	-----------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	8,104	(基礎交付金)
2	社会福祉協議会補助金	10,000	※地域福祉基本事業費補助 地域ボランティアの育成
3	繰越金	10,000	
4	参加者負担金	0	
5	合計 (A)	28,104	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費		
3	旅費		
4	需用費	9,966	食糧費 <u>2,136</u> 円 ・ 座談会参加者お茶1箱24本 2,136 印刷製本費 <u>480</u> 円 ・ 座談会用横断幕 480 会議費<社協対応> <u>7,350</u> 円 ・ 座談会参加者茶菓子 7,350
5	役務費	18,138	通信運搬費 <u>17,438</u> 円 ・ 座談会案内文書、当番表等送付等 17,438 保険料 <u>700</u> 円 ・ 座談会参加者保険25人分 700
6	委託料		
7	使用料及び賃借料		
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	合計 (B)	28,104	

収支差額 (A) - (B)	0
----------------	---

(様式第6号)

事業別収支計算書

小戸地域自治区  
小戸まちづくり推進委員会

事業名	防災倉庫整備事業
-----	----------

(1) 収入の部 (単位: 円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	0	(基礎交付金)
2	社会福祉協議会補助金	0	
3	繰越金	3,496	
4	参加者負担金	0	
5	合計 (A)	3,496	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費		
3	旅費		
4	需用費	3,496	消耗品費 3,496 円 ・衛生用品等 3,496
5	役員費		
6	委託料		
7	使用料及び賃借料		
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	合計 (B)	3,496	

収支差額 (A) - (B)	0
----------------	---

(様式第6号)

事業別収支計算書

小戸地域自治区  
小戸まちづくり推進委員会

事業名	災害積立基金活用事業
-----	------------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	0	(基礎交付金)
2	社会福祉協議会補助金	0	
3	繰越金	0	
4	参加者負担金	0	
5	災害積立基金	628,210	※災害積立基金697,250円(今年度予算)中
6	合計(A)	628,210	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費		
3	旅費		
4	需用費	256,080	修繕料 <u>256,080</u> 円 ・整地作業労務費・組立工事費 256,080
5	役務費		
6	委託料		
7	使用料及び賃借料		
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費	372,130	備品購入費 <u>372,130</u> 円 ・発電機 105,930 ・ポータブル電源 71,500 ・ソーラーパネル 39,050 ・避難所用照明2台 70,400 ・照明用充電器 47,520 ・照明用バッテリー 37,730
11	積立金		
12	合計(B)	628,210	

収支差額(A) - (B)	0
---------------	---

## 事業別収支計算書

小戸地域自治区

小戸まちづくり推進委員会

事業名	情報交換会事業
-----	---------

## (1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	76,296	(基礎交付金)
2	社会福祉協議会補助金	65,400	※地域福祉基本事業費補助 見守りネットワーク活動の推進
3	繰越金	50,000	
4	参加者負担金	12,500	視察研修会昼食弁当@500円×25人分
5	合計 (A)	204,196	

## (2) 支出の部

番号	科目	金額	内 訳
1	賃金		
2	報償費		
3	旅費		
4	需用費	61,784	食糧費 <u>42,432</u> 円 ・福祉協力員参加者お茶1箱24本×2箱 2,360 ・視察研修会参加者お茶1箱24本×2箱 4,272 ・視察研修会昼食弁当@1,100円×26人分 28,600 ・視察研修会せいごろう亭飲み物25人分(社協対応) 7,200 印刷製本費 <u>360</u> 円 ・福祉協力員研修会用横断幕 360 会議費<社協対応> <u>18,992</u> 円 ・福祉協力員研修会参加者茶菓子 9,900 ・地区情報交換会会議費(2回分) 9,092
5	役務費	48,012	通信運搬費 <u>25,272</u> 円 ・研修会等案内文書、出欠返信用ハキ等 25,272 保険料 <u>12,740</u> 円 ・福祉協力員活動保険30人分 10,500 ・福祉協力員研修会参加者保険40人分 1,120 ・視察研修会参加者保険40人分 1,120 手数料 <u>10,000</u> 円 ・視察研修会施設見学科25人分 10,000
6	委託料		
7	使用料及び賃借料	94,400	使用料及び賃借料 <u>94,400</u> 円 ・視察研修会大型バス借り上げ 94,400
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	合計 (B)	204,196	

収支差額 (A) - (B)

0

(様式第6号)

事業別収支計算書

小戸地域自治区  
小戸まちづくり推進委員会

事業名	ふれあい会食会事業
-----	-----------

(1) 収入の部 (単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	118,171	(基礎交付金)
2	社会福祉協議会補助金	30,000	※地域福祉基本事業費補助 孤立化防止活動の推進
3	繰越金	50,000	
4	参加者負担金	45,000	地区ふれあい会食会(7回分)@200円×192人分 全体ふれあい会食会(1回分)@200円×33人分
5	合計(A)	243,171	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費	18,000	謝金 <u>18,000</u> 円 ・地区会食会講師謝礼@3,000円×3人 9,000 ・全体会食会講師謝礼@3,000円×3人 9,000
3	旅費		
4	需用費	219,633	消耗品費 <u>18,941</u> 円 ・地区会食会 衛生用品等 18,941 食糧費 <u>156,123</u> 円 ・地区会食会(7回分) 弁当、お茶等 132,613 ・全体会食会(1回分) 弁当、お茶等 23,510 印刷製本費 <u>42,819</u> 円 ・FAX印刷等 42,819 会議費<社協対応> <u>1,750</u> ・全体会食会講師茶菓子 1,750
5	役務費	2,758	通信運搬費 <u>1,638</u> 円 ・全体会食会受講票(ハカキ) 1,638 保険料 <u>1,120</u> 円 ・全体会食会参加者保険40人分 1,120
6	委託料		
7	使用料及び賃借料	2,780	使用料 <u>2,780</u> 円 ・介護タクシー利用 2,780
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	合計(B)	243,171	

収支差額(A) - (B)	0
---------------	---

(様式第6号)

事業別収支計算書

小戸地域自治区  
小戸まちづくり推進委員会

事業名	地域福祉推進事業
-----	----------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	8,888	(基礎交付金)
2	社会福祉協議会補助金	26,824	※地域福祉活動実践事業費補助 福祉活動活性化
3	繰越金	20,000	
4	参加者負担金	0	
5	合計 (A)	55,712	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費		
3	旅費		
4	需用費	35,552	消耗品費 35,552 円 ・チラシ用紙等 35,552
5	役務費	20,160	保険料 20,160 円 ・しょくどう参加者保険40人×12回分 13,440 ・音楽カン参加者保険20人×12回分 6,720
6	委託料		
7	使用料及び賃借料		
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	合計 (B)	55,712	

収支差額 (A) - (B)	0
----------------	---

(様式第6号)

事業別収支計算書

小戸地域自治区  
小戸まちづくり推進委員会

事業名	子育て支援事業
-----	---------

(1) 収入の部

(単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	6,025	(基礎交付金)
2	社会福祉協議会補助金	40,000	※地域福祉基本事業費補助 子育て支援活動の推進
3	繰越金	20,000	
4	参加者負担金	2,500	子育てサロニスタッフ反省会@500円×5人分
5	合計(A)	68,525	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費		
3	旅費		
4	需用費	35,165	消耗品費 10,285 円 ・チラシ用紙、玩具等 10,285 食糧費 17,380 円 ・茶菓子 17,380 会議費<社協対応> 7,500 円 ・子育てサロニスタッフ反省会 7,500
5	役務費	11,760	保険料 11,760 円 ・参加者保険35人×12回分 11,760
6	委託料		
7	使用料及び賃借料	21,600	使用料及び賃借料 21,600 円 ・会場賃借、エアコン使用 21,600
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	合計(B)	68,525	

収支差額(A) - (B)	0
---------------	---

(様式第6号)

事業別収支計算書

小戸地域自治区  
小戸まちづくり推進委員会

事業名	花のまちづくり事業
-----	-----------

(1) 収入の部 (単位: 円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	52,971	(基礎交付金)
2	社会福祉協議会補助金	0	
3	繰越金	50,000	
4	参加者負担金	37,000	花の寄せ植え講習会(延べ2回分)@500円×74鉢分
5	合計(A)	139,971	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費	12,000	謝金 <u>12,000</u> 円 ・講師謝礼@6,000円(2人)×2回 12,000
3	旅費		
4	需用費	120,548	消耗品費 <u>120,548</u> 円 ・寄せ植え材料 111,660 ・チラシ用紙等 8,888
5	役務費	7,423	通信運搬費 <u>5,183</u> 円 ・受講票(ハガキ) 5,183 保険料 <u>2,240</u> 円 ・参加者保険40人×2回分 2,240
6	委託料		
7	使用料及び賃借料		
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	合計(B)	139,971	

収支差額(A) - (B)	0
---------------	---

(様式第6号)

事業別収支計算書

小戸地域自治区  
小戸まちづくり推進委員会

事業名	ボランティア育成事業
-----	------------

(1) 収入の部 (単位: 円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	0	(基礎交付金)
2	社会福祉協議会補助金	14,600	※地域福祉基本事業費補助 地域ボランティアの育成
3	繰越金	0	
4	参加者負担金	0	
5	合計 (A)	14,600	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費		
3	旅費		
4	需用費	2,520	印刷製本費 2,520 円 ・ボランティア募集チラシ 2,520
5	役務費	12,080	通信運搬費 180 円 ・ボランティア活動証明書 180 保険料 11,900 円 ・ボランティア活動保険34人分 11,900
6	委託料		
7	使用料及び賃借料		
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	合計 (B)	14,600	

収支差額 (A) - (B)	0
----------------	---

(様式第6号)

事業別収支計算書

小戸地域自治区  
小戸まちづくり推進委員会

事業名	小戸地区大運動会事業
-----	------------

(1) 収入の部 (単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	228,548	(基礎交付金)
2	社会福祉協議会補助金	0	
3	繰越金	250,000	
4	参加者負担金	0	
5	合計(A)	478,548	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費		
3	旅費		
4	需用費	236,184	消耗品費 <u>56,272</u> 円 ・受付用紙製リストバンド、衛生用品等 19,402 ・参加者景品 36,870 食糧費 <u>41,642</u> 円 ・スタッフ用お茶1箱24本×2箱 3,792 ・パン食い競争用パン 37,850 印刷製本費 <u>138,270</u> 円 ・チラシ印刷 138,270
5	役務費	39,084	通信運搬費 <u>7,584</u> 円 ・実行委員会文書、アンケート等 7,584 保険料 <u>31,500</u> 円 大運動会参加者保険250人分 31,500
6	委託料		
7	使用料及び賃借料		
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費	203,280	備品購入費 <u>203,280</u> 円 ・かんたんテント(フレーム、天幕)2組(配送料込) 203,280
11	積立金		
12	合計(B)	478,548	

収支差額(A) - (B)	0
---------------	---

(様式第6号)

事業別収支計算書

小戸地域自治区  
小戸まちづくり推進委員会

事業名	体育会との連携事業
-----	-----------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	30,016	(基礎交付金)
2	社会福祉協議会補助金	0	
3	繰越金	30,000	
4	参加者負担金	0	
5	合計(A)	60,016	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費		
3	旅費		
4	需用費	53,072	消耗品費 <u>47,972</u> 円 ・参加者景品、フジ色紙等 47,972 食糧費 <u>5,100</u> 円 ・参加者お茶1箱24本×2箱 5,100
5	役務費	6,944	通信運搬費 <u>1,344</u> 円 ・フジオ体操会案内文書 1,344 保険料 <u>5,600</u> 円 ・参加者保険50人分(ミニバレー大会) 1,400 ・参加者保険150人分(フジオ体操会) 4,200
6	委託料		
7	使用料及び賃借料		
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	合計(B)	60,016	

収支差額(A) - (B)	0
---------------	---

(様式第6号)

事業別収支計算書

小戸地域自治区  
小戸まちづくり推進委員会

事業名	歩こう会事業
-----	--------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	11,592	(基礎交付金)
2	社会福祉協議会補助金	0	
3	繰越金	0	
4	参加者負担金	0	
5	合計(A)	11,592	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費	6,000	謝金 <u>6,000</u> 円 ・ 救護謝礼(看護師)1人分 6,000
3	旅費		
4	需用費	3,832	消耗品費 <u>3,832</u> 円 ・ 氷嚢、ゴミ袋、トイレットペーパー等 3,832
5	役務費	1,760	通信運搬費 <u>1,760</u> 円 ・ 歩こう会案内文書 1,760
6	委託料		
7	使用料及び賃借料		
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	合計(B)	11,592	

収支差額(A) - (B)	0
---------------	---

(様式第6号)

事業別収支計算書

小戸地域自治区  
小戸まちづくり推進委員会

事業名	しめ縄飾り体験事業
-----	-----------

(1) 収入の部 (単位: 円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	34,889	(基礎交付金)
2	社会福祉協議会補助金	0	
3	繰越金	50,000	
4	参加者負担金	17,000	しめ縄飾りつけ体験@500円×34個分
5	合計 (A)	101,889	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費	8,000	謝金 8,000 円 ・講師謝礼@1,000円×4人×2h 8,000
3	旅費		
4	需用費	69,154	消耗品費 69,154 円 ・しめ縄材料40セット 66,330 ・門松用材料(砂利、葉牡丹) 2,824
5	役務費	2,735	通信運搬費 1,615 円 ・受講票(ハギキ) 1,615 保険料 1,120 円 ・参加者保険40人分 1,120
6	委託料		
7	使用料及び賃借料		
8	工事請負費		
9	原材料費	22,000	原材料費 22,000 円 ・門松材料一式(2m1段、飾り付) 22,000
10	備品購入費		
11	積立金		
12	合計 (B)	101,889	

収支差額 (A) - (B)	0
----------------	---

(様式第6号)

事業別収支計算書

小戸地域自治区  
小戸まちづくり推進委員会

事業名	小戸小との連携事業
-----	-----------

(1) 収入の部 (単位: 円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	13,259	(基礎交付金)
2	社会福祉協議会補助金	10,000	※地域福祉基本事業費補助 子育て支援活動の推進
3	繰越金	50,000	
4	参加者負担金	0	
5	合計 (A)	73,259	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費		
3	旅費		
4	需用費	72,699	消耗品費 <u>60,459</u> 円 ・はちまき、水鉄砲、ポイ(水祭り) 39,512 ・ガムテープ、ゴミ袋等(ダンボールキャンプ) 20,947 食糧費 <u>12,240</u> 円 ・水祭り参加者お茶1箱24本×4箱 12,240
5	役務費	560	保険料 <u>560</u> 円 ・参加者保険(ボランティア分)20人分 560
6	委託料		
7	使用料及び賃借料		
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	合計 (B)	73,259	

収支差額 (A) - (B)	0
----------------	---

(様式第6号)

事業別収支計算書

小戸地域自治区  
小戸まちづくり推進委員会

事業名	まちづくり広報事業
-----	-----------

(1) 収入の部

(単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	47,084	(基礎交付金)
2	社会福祉協議会補助金	173,176	※地域福祉活動実践事業費補助 福祉啓発
3	繰越金	150,000	
4	参加者負担金	0	
5	合計(A)	370,260	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費		
3	旅費		
4	需用費	370,260	印刷製本費 370,260 円 ・まち推だより30、31号 各3,500部 370,260
5	役務費		
6	委託料		
7	使用料及び賃借料		
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	合計(B)	370,260	

収支差額(A) - (B)	0
---------------	---

(様式第6号)

事業別収支計算書

小戸地域自治区  
小戸まちづくり推進委員会

事業名	まちづくり活動支援事業
-----	-------------

(1) 収入の部 (単位: 円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	850,147	(基礎交付金)
2	社会福祉協議会補助金	0	
3	繰越金	301,980	
4	参加者負担金	2,500	小戸かるた販売@500円×5個
5	合計(A)	1,154,627	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費		
3	旅費		
4	需用費	341,600	消耗品費 <u>240,741</u> 円 ・用紙、トナーカートリッジ等事務用品 240,741 燃料費 <u>16,967</u> 円 ・リース車両給油 16,967 食糧費 <u>13,452</u> 円 ・会議用お茶1箱24本×9箱 13,452 印刷製本費 <u>42,940</u> 円 ・名刺、総会横断幕、封筒(長3・角2) 42,940 修繕料 <u>27,500</u> 円 ・小戸小社会教育室鍵修繕 27,500
5	役務費	170,748	通信運搬費 <u>150,420</u> 円 ・事務局電話・インターネット・スマートフォン 136,472 ・総会・部会の議事録等 13,948 手数料 <u>20,328</u> 円 ・小戸音頭はっぴクリーニング代等 20,328
6	委託料		
7	使用料及び賃借料	597,300	使用料及び賃借料 <u>597,300</u> 円 ・車両リース12ヶ月分 374,220 ・プリンタリース12ヶ月分 73,920 ・パソコンリース12ヶ月分 149,160
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費	44,979	備品購入費 <u>44,979</u> 円 ・電話機(親機1台・子機1台) 26,950 ・カシオ ネムランド 本体 18,029
11	積立金		
12	合計(B)	1,154,627	

収支差額(A) - (B)	0
---------------	---

(様式第7号)

積立金管理状況報告書

小戸地域自治区  
小戸まちづくり推進委員会

積立金名称	災害積立基金
-------	--------

積立金の収支 (単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	前年度までの積立額	697,250	※総積立額 4,000,000円
2	積立額	0	※令和元年度で積立終了
3	取崩額	697,250	
4	合計	0	

積立金名称	
-------	--

積立金の収支 (単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	前年度までの積立額		
2	積立額		
3	取崩額		
4	合計	0	

積立金名称	
-------	--

積立金の収支 (単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	前年度までの積立額		
2	積立額		
3	取崩額		
4	合計	0	

(様式第9号)

宮崎市地域コミュニティ活動交付金繰越届出書

令和7年 3月18日

宮 崎 市 長 殿

主たる事務所の所在地	宮崎市鶴島2丁目18番23号
名称	小戸まちづくり推進委員会
代表者の氏名	会 長 西 山 久 介
電話番号	7 1 - 4 5 8 3

令和6年3月29日付けで交付決定のありました地域コミュニティ活動交付金については、決算において1,147,232円の残金があり、繰越金として次年度の会計へ繰り越しますので届け出ます。

繰 越 金 内 訳

基礎交付金	1,147,232円
特例交付金	0円

添 付 書 類

令和6年度収支決算書

令和6年度 小戸まちづくり推進委員会への意見書 [事業実施報告]

小戸地域自治区地域協議会  
会長 田尻 敏行

令和6年度の小戸地域自治区の地域まちづくり事業実施報告及び収支決算について、事業計画及び収支予算に沿って適正に執行されていきましたので、承認いたします。なお、承認に際し、下記の意見がありましたので、対応を検討いただきますようお願いいたします。

記

1 総括

小戸まちづくり推進委員会が、地域コミュニティ活動交付金を活用しながら取り組んできた様々な事業は、地域の課題解決に果たすまちづくりの重要な役割を担っていると感じさせられました。

令和7年度より「新たなまちづくり」へと制度が変わります。まちづくりの担い手の高齢化や固定化といった課題もありますが、より一層地域住民と協力して今後とも「ずっと住み続けたいまち ほっとするまち 小戸地域」を継承し、子どもから高齢者まで多くの地域住民が楽しんで参加できる地域まちづくり活動に励んでください。

2 事業の推進体制

特にありません。

3 各事業への意見（意見のある事業のみ記載）

特にありません。

4 その他